日本化薬株式会社
作成年月日：1996年 6月25日
改訂年月日：2014年 8月18日

製品安全データシート

1　製品名及び会社情報

製品名　：ゲザガード５０
会社名　：日本化薬株式会社
　住所　：東京都千代田区丸の内２丁目１－１
　担当部門　：アグロ事業部
　電話番号　：03-6731-5325
　FAX番号　：050-3730-8045
緊急連絡先　：平日昼間　アグロ事業部(電話番号　03-6731-5325)
　休日・夜間　鹿島工場(電話番号　0479-46-2753)
メールアドレス　：agro.info@nipponkayaku.co.jp
推奨用途及び使用上の制限　：農薬

2　危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響
　環境影響　：除草剤。
　陸生及び水生の植物に影響がある。
　物理的及び化学的危険性：可燃性があるので、火気に注意する。
　特定の危険有害性　：特に知られていない。

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入)	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖細胞変異原生	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分１
	水生環境有害性(慢性)	区分１

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素
　絵表示

注意換気語　警告

日本化薬株式会社
作成年月日：1996年 6月25日
改訂年月日：2014年 8月18日

危険有害性情報　・水生生物に非常に強い毒性
・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

［予防策］
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙はしないこと。
・取り扱い後は良く手を洗うこと。
・保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
・汚染された作業衣は作業所から出さないこと。
・環境への放出は避けること。

［対応］
・飲み込んだ場合　：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと。
・皮膚についた場合：大量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類を再利用する場合には洗濯、汚染の除去をすること。
・吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
・皮膚刺激または発疹が生じた場合
：医師の診断／手当てを受けること。
・漏出した場合　：漏出物を回収すること。

［保管］　・施錠して保管すること。

［廃棄］　・内容物／容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3　組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
化学名(又は一般名)　：2,4-ビス(イソプロピルアミノ)-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン

成分及び含有量

成分	含有量(%)	CAS番号	官報公示整理番号 化審法	官報公示整理番号 安衛法
プロメトリン	50.0	7287-19-6	5-3850	8-(3)-236
その他	50.0	営業秘密につき非公開		

化学特性(化学式又は構造式)：$C_{10}H_{19}N_5S$
危険有害成分　：特に知られていない

4　応急処置

吸入した場合：新鮮な空気の所に移して安静にさせる。
直ちに医師の処置を受ける。
多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをし、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、多量の水または石鹸水でよく洗い落とす。
速やかに医師の手当を受ける。

目に入った場合：清浄な水で15分以上洗眼する。
医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせてはならない。
繰り返し大量に水とともに医療用活性炭を投与する。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
速やかに医師の手当てを受ける。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報
：特別な情報はない。

応急処置をする者の保護
：救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項
：特別な情報はない。

5　火災時の処置

消火剤：噴霧水・泡消火剤・粉末ドライケミカル・炭酸ガス（適宜、状況に応じて使用する）

使ってはならない消火剤
：冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特定危険有害性
：当該製品は分子中に窒素および硫黄を含有しているため、燃焼ガスには窒素酸化物、硫黄酸化物などの有害ガスが含まれる。
消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する必要がある。

特定の消火方法：消火作業は、可能な限り風上から行う。
速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう適切な措置を行う。

消火を行うものの保護（保護具等）
：消火に当たる者は、有毒ガスが発生するので呼吸保護具を着用する。
消火の際は適切な保護具（マスク、眼鏡、手袋）を着用する。

日本化薬株式会社
作成年月日：1996年 6月25日
改訂年月日：2014年 8月18日

6　漏出時の処置

人体に対する注意事項：漏出(飛散)した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
処理時には保護具(防毒マスク、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣)を着用し、吸入したり、手足、顔などに付着しないようにする。

環境に対する注意事項：漏出(飛散)した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法

少量の場合：掃き集め、密閉容器に回収する。

大量の場合：粉塵が飛散しないように注意しながらできるだけ掃き集め、密閉容器に回収する。

7　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：炎、火花、もしくは高温体との接触または過熱を避ける。
取扱場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。
取り扱いは換気のよいところで行う。
皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。
休憩場所には、手洗い、洗眼などの設備をもうけ、取扱い後には手などをよく洗う。
食品や飼料への混入を避けること。
指定された場所以外では、飲食、喫煙しないこと。
保護衣、保護眼鏡、保護手袋など、適切な保護具を着用する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。

注意事項：みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。

安全取扱い注意事項：機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保管

適切な保管条件：直射日光を避ける。
低温の乾燥した場所に、密封して保管する。
食品、飼料と一緒に保管しないこと。
高温体、裸火のそばに保管しないこと。

安全な容器包装材料：基本的には製品容器を使用する。

日本化薬株式会社
作成年月日：1996年 6月25日
改訂年月日：2014年 8月18日

8　暴露防止及び保護処置

設備対策　：局所排気装置の設置または全体換気を適切に行うことが望ましい。
取扱場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度　：設定されていない。

許容濃度　：日本産業衛生学会　　設定されていない。
ACGIH 設定されていない。

保護具　：
　呼吸器用の保護具　：防塵マスク
　手の保護具　：ゴム手袋
　皮膚及び身体の保護具：保護衣(長袖)、保護眼鏡

9　物理的及び化学的性質

物理的状態
　形状　：固体
　色　：類白色
　臭い　：無臭
　ｐＨ　：該当しない
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
　融点*　：120.4℃
　沸点*　：190℃付近で酸化的分解するため、測定不能
密度*　：1.15 g/cm^3 (22℃)
バルク比重　：0.2～0.3 g/cm^3
引火点　：データなし
蒸気圧*　：1.65×10^{-4} Pa (25℃、外挿)
発火点**　：452 ℃ (浮遊粉塵)
爆発特性　：「１０．安定性及び反応性」に記載
溶解性
　溶媒に対する溶解性：n-ヘキサン, 4.9 g/L；トルエン, 214 g/L；
ジクロロメタン, 485 g/L；アセトン, 199 g/L；
メタノール, 193 g/L；酢酸エチル, 278 g/L (20℃)
水, 33 mg/L (22℃、pH 6.7)
オクタノール/水分配係数*
：log P_{OW} = 3.1 (25℃)

*　：純品（プロメトリン）に関する情報
**　：BAM(ドイツ連邦物質検査学会)

日本化薬株式会社
作成年月日：1996年 6月25日
改訂年月日：2014年 8月18日

１０　安定性及び反応性

安定性　：通常の取り扱い条件においては安定である。
爆発範囲　：爆発性なし
衝撃感応性　：曝轟性(detonation)なし
熱安定性

開放容器／動温条件(dynamic)	350℃まで発熱反応なし
170℃最大許容温度(熱媒体、heating med)	350℃でガス引火(inflammable)
開放容器／等温条件(isothermic)	350℃で最初の発熱反応
開放容器／動温条件／新鮮な空気の流れの中	110℃(融点)まで発熱反応なし
熱蓄積試験(200ml Dewar フラスコ/72時間)	100℃で発熱反応なし
熱貯蔵試験(400ml 針金網容器/65時間)	90℃で発熱反応なし

以上、プロメトリン原体に関する情報
加水分解性　：半減期＞30日 (25℃、pH 5、7、9)
光分解性　：半減期 3.9日～59日 (25℃)
避けるべき条件　：酸、アルカリとの接触を避ける
危険有害な分解生成物：特別な情報はない。

１１　有害性情報

急性毒性	：経口	ラット	雄	LD_{50}	4325 mg/kg(80％水和剤)
	経皮	ラット	雄	LD_{50}	>3170 mg/kg(80％水和剤)
	吸入	ラット	雌雄	LC_{50}	>1400 mg/m^3 (80％水和剤)

局所効果(皮膚、眼など)：

	：眼刺激性	ウサギ	極小度の刺激性(7日間観察) 投与24時間後の観察で結膜に刺激性変化(平均評点0.6)が認められたが、以降の観察では刺激性変化は認められなかったため、区分外とした。
	：皮膚刺激性	ウサギ	軽度の刺激性(3日間観察) 投与24時間後の観察でわずかに刺激性変化(一次刺激指数0.3)が認められたが、以降の観察では刺激性変化は認められなかったため、区分外とした。
皮膚感作性：		モルモット	陰性(ＧＰＭ法)
慢性毒性	：最大無作用量	11.1 mg/kg/day	(ラット混餌106週間、雄)
	最大無作用量	12.6 mg/kg/day	(ラット混餌106週間、雌)

発癌性　：陰性 (ラット混餌106週間及びマウス混餌102週間)
変異原性　：陰性 (復帰変異、染色体異常、核異常誘発性)
生殖毒性　：陰性 (ラット３世代)
催奇形性　：陰性 (ラット、ウサギ)

日本化薬株式会社
作成年月日：1996年 6月25日
改訂年月日：2014年 8月18日

１２　環境影響情報

残留性/分解性　：土壌半減期

(畑地容器内)	28～56日
(畑地圃地)	5～35日
(水田容器内)	56～147日
(水田圃地)	30日以内

生態毒性

水生生物：

コイ	LC_{50}	28.9 mg/L (96 hr)
オオミジンコ	EC_{50}	38.8 mg/L (48 hr)
緑藻	E_rC_{50}	64.8 μg/L (72hr)

その他　：オクタノール/水分配係数 log P_{OW} = 3.1(プロメトリン純品)
除草剤。陸生及び水生の植物に影響がある。

１３　廃棄上の注意

残余廃棄物　：下水道、いかなる水域、土地にも投棄してはならない。
産業廃棄物処理の免許を持つ産業廃棄物業者へ依頼して処理する。

汚染容器、包装　：容器を３回洗浄し、つぶす。洗浄排水は地面や排水溝へそのまま捨てないこと。
容器を再利用してはならない。

１４　輸送上の注意

国際規制

陸上：ADR/RID	クラス9	PGⅢ
海上：IMDGコード	クラス9	PGⅢ
航空：ICAO/IATA	クラス9	PGⅢ

国連分類　：クラス9 (環境有害性物質)

国連番号　：3077

国内規制

陸上　：非該当

海上輸送　：船舶安全法 危険物船舶運送及び貯蔵規則 第３条 有害性物質

航空輸送　：航空法 航空法施行規則 第194条 その他の有害物件

輸送の特定の安全対策及び条件：

車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人へイエローカードを携帯させる。
車両等には、所定の標識板、消火器、火災防止資材を備える。
容器が破損しないように、混載するときは注意すること。
取り扱い及び保管上の注意事項に留意する。

日本化薬株式会社
作成年月日：1996年 6月25日
改訂年月日：2014年 8月18日

１５　適用法令

農薬取締法	適用			
化学物質管理促進法	(2009年10月1日に施行された改正法に伴う記載)			
	以下のものは指定化学物質に該当			
	名称	種別	番号	含有率
	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ	第一種	30	2.4%

１６　その他の情報

記載内容の問合せ先　：アグロ事業部
０３－６７３１－５３２５

改訂の記録　：

作成	１９９６年０６月２５日
改訂	１９９９年１０月１２日
改訂	２０００年１２月１３日
改訂	２０００年１２月２６日
改訂	２００１年０１月１９日
改訂	２００１年０７月１１日
改訂	２００５年０１月０６日
改訂	２００９年１０月０１日
改訂	２０１０年１２月１６日
最終改訂	２０１４年０８月１８日

引用文献　：国際連合　化学品の分類および表示に関する世界調和システム（ＧＨＳ）(改訂３版)
THE PESTICIDE MANUAL(第 15 版)
農薬抄録　プロメトリン

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申しあげます。また、記載事項は通常の取り扱いを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。